



長崎県

SASEBO CITY

佐世保市

佐世保市
長崎県

佐世保市は、長崎県北部の中心都市で長崎県では長崎市に次いで二番目に多い人口を擁しています。県庁所在地ではない都市としては、比較的大きな規模を持ち、国から中核市の指定を受けています。

その始まりは1889年、国家プロジェクトとして佐世保に築かれた佐世保鎮守府にあり、当時の最先端の技術と最高峰の人材、そして巨額の費用が惜しみなく投入されました。港湾、鉄道、水道などが次々に整備され、日本本土最西端の地に日本の近代化を牽引する近代都市「佐世保市」が誕生するきっかけとなりました。

佐世保鎮守府開庁から百三十年の時を経た今も現役で活躍する鎮守府由来の施設群。その数は実に503にも及びます。日本遺産にも認定された「鎮守府」日本近代化の躍動を体感できるまち、佐世保へぜひお越しください。



市の全景「弓張岳から佐世保港を望む」



旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館



旧佐世保海軍工廠



針尾無線塔

11市町で連携中枢 都市圏を形成しました



2019年4月、佐世保市を連携中枢都市として、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、新上五島町、伊万里市、有田町の11の自治体が県境を越えて「西九州させば広域都市圏」を形成しました。

「連携中枢都市圏」は、近隣の市町と連携して、行政サービスにかかる費用を削減するなど、スケールメリットを活かした取り組みを進めるための枠組みです。



2019年8月に地域経済のダム機能、且つ、留めた「富」を活用する地域振興の担い手が誕生しました。



様々な地域のPowerを 未来のPowersへ

株式会社西九州させばパワーズの設立目的

- ① 「富」（電気料金等）の地域外流出抑制
- ② 利益相当分を各地域の公益的事業へ還元
- ③ 再エネ促進、エネルギーの地産地消への足掛かり

電気・エネルギーを軸としつつ、
広域都市圏の地域経営を担う会社に

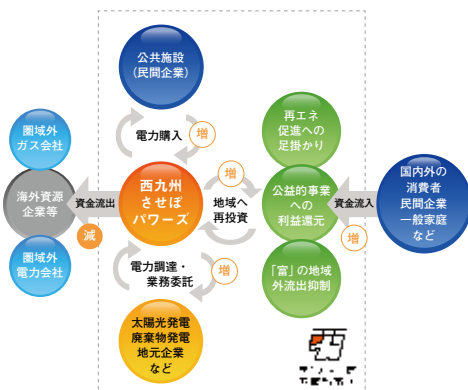
2019年8月「西九州させば広域都市圏」が目指す「経済成長の牽引」や「生活関連機能サービス」の向上「実現のため、佐世保市、パシフィックパワー株式会社、親和銀行が共同出資し、自治体新電力会社「株式会社西九州させばパワーズ」を設立しました。

連携中枢都市圏における連携事業として自治体新電力会社が設立されるのは日本初となります。

行政区域の枠を超えて、電力を供給し、得られる利益を西九州させば広域都市圏に還元することを目的としています。

暮らしに必要な不可欠な電気。必要経費として支払う電気代をきつかに、住みやすい・働きやすい圏域づくりを、民間の柔軟性を活かし、スピード感をもって実施していきます。

佐世保市は、広域都市圏の中心市として、連携市町から営業利益の使途や地域課題を定期的にヒアリングし、一方で、株式会社西九州させばパワーズに対して、佐世保市は筆頭株主として、地域課題解決の



新たな受け皿（西九州させばパワーズ）が出来ることで、地域に入ってくる及び留まる資金が増え、流出が抑制されます

ための事業実施を提案する関係性で、事業を推進します。

この会社の具体的事業は、連携市町の意見を基に、これから決めていくこととなりますが、ポイントは「半公共的事业」と位置付けています。

行政が一般財源を投じ難く、民間も採算が取りづらいような、官と民のギャップの部分の担い、都市圏の活性化に寄与出来ればと思っています。

将来的には、会社の理念に賛同する新たな出資者を募りながら、会社が持つ付加価値を拡大させることも視野に入れています。電気をきっかけとした、新たな圏域のチャレンジに大きな期待を寄せています。

佐世保市

SASEBO CITY



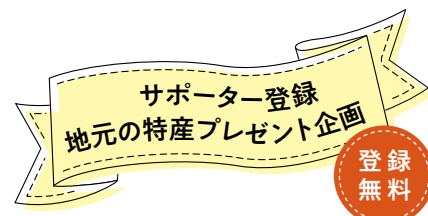
西九州させば
広域都市圏

西九州させば広域都市圏

～新しい地方移住の進め方～



西九州させば移住サポートプラザのスタッフ



登録して頂いた方の中から、抽選で3カ月に1度、移住サポート事業8市町の中から素敵な地元特産品を若干名にプレゼントいたします!!

- 2019年11月と2020年2月の2回抽選を行います。
- 厳選なる抽選の上、当選者を決定しメールまたは電話にて当選をお知らせします。

これをもって、当選者の発表とさせていただきます。

11市町が連携して 移住を推進します!

JR佐世保駅から港沿いに歩いて5分、港・まちなかに隣接する「新みなとターミナル」に移住ワンストップ窓口「西九州させば移住サポートプラザ」があります。サポートプラザでは、カフェのような雰囲気の中で、リラックスして、仕事、住まい、子育て等、「させば暮らし」をはじめのための様々な相談をお受けし、移住支援制度のご紹介もいたします。

昨年度では、のべ1,000件の移住相談をお受けし、231人（111世帯）の方が移住をされています。

今年度からは、西九州させば広域都市圏全域にわたる移住推進業務へシフトし、圏域一体となった取り組みを進めています。広域圏の移住情報や地域の魅力をPRし、広域移住相談についてもお受けしています。

加えて、8市町（佐世保市、平戸



外観（新みなとターミナル）

市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町）の共同で「移住特設サイト」（させば広域ドットコム）を開設し、「広域圏サポーター登録」も始めています。登録をして頂いた方へ、広域圏の移住情報を定期的にお送りし、福岡県や首都圏で開催する移住相談会等の情報をお届けします。移住を検討されている方、地域に興味がある方のご登録をお待ちしています!

移住希望者に魅力的な移住支援

2 仕事

「させぼお仕事情報プラザ」がUJIターンの方専門に就業支援を行っています。ハローワークの求人情報はもとより、地元企業から直接お聞きした求人情報をご紹介します。もちろん、就職決定まで就業支援は継続します。

4 移住支援制度

県外からの移住支援では、引越経費の一部補助をはじめ、住まいに関する支援として、賃貸住宅家賃や住宅の新築・購入・改修に係る経費の一部補助を実施しています。

また、中学生以下の子どもがいる子育て世帯への支援として、助成金の交付や住まいに関する支援額を加算しています。離島地域への移住についても支援額を加算しています。他にも、市内で起業・就業する若者を応援する奨学金返還サポート制度もあります。

※支援制度は、それぞれ要件や補助金額が異なります。詳しくは「西九州させぼ移住サポートプラザ」へお尋ねください。

1 住まい

サポートプラザが、ご希望のエリアや家賃、間取り等の情報からお部屋探しをサポートしています。また、移住前に、買物や医療、教育環境などの生活環境を確認したい等のお求めがあれば、現地をレンタカーで案内しています。

3 子育て

子どもの保育面では、「子ども・子育て部署」に責任をもっておつなぎしています。佐世保市には、乳幼児施設が計110施設あり、市域全体の待機児童数はゼロという状況です。あわせて、「保育コンシェルジュ」による、保育に関する相談も受け付けています。佐世保は安心して子育てができる環境にあります。

【お問い合わせ】 西九州させぼ移住サポートプラザ

西九州させぼ広域都市圏移住サポート事務局
〒857-0855 長崎県佐世保市新港町8-1(新みなとターミナル内)
電話：0956-25-9251 FAX：0956-25-3311
Eメール uji-turn@city.sasebo.lg.jp

佐世保市を
ご案内

させぼ広域ドットコム

<https://sasebokoiki.com/>

西九州させぼ広域都市圏の特設移住サイト。
11市町の暮らし・魅力を発信しています。
サポーター登録も宜しくお願いします!



佐世保移住サポートサイト

<https://www.city.sasebo.lg.jp/99life/>

佐世保市の移住サイト。させぼ暮らしのご案内をしています。



西九州させぼ広域都市圏フェイスブック

<https://www.facebook.com/sasebokoikiUJI/>

広域圏の暮らし・魅力をタイムリーに発信しています。
いいねも宜しくお願いします!



佐世保市移住応援ガイドブック

<https://www.city.sasebo.lg.jp/99life/support/seido.html>

佐世保市の暮らし・移住支援を
ご紹介しているガイドブック。
電子書籍(デジタルブック)版



親和銀行 地域振興部から

期日：2019年7月16日(火)～26日(金)：「海風の国 佐世保写真展」

2019年7月16日(火)・17日(水)：「させぼ物産展」

場所：福岡銀行本店ロビー・ふくぎん本店広場

佐世保鎮守府開庁・佐世保港開港130年記念 「海風の国 佐世保写真展」、「させぼ物産展」を開催

親和銀行とふくおかフィナンシャルグループは、2008年8月に佐世保市と「佐世保市・親和銀行・福岡銀行及びFFGによる産業振興分野での連携に関する基本協定」を締結しました。

地方創生への取り組みとして直近のイベントをご紹介します。

今回のイベントは、観光・地域物産のPRを中心に佐世保市に関心を持ってもらい、関係人口・交流人口の増加、ひいては移住・定住につなげていくことを目的としています。

写真展は、地元出身の写真家中倉壮志朗氏によるもので佐世保港を中心に近辺の「日本遺産」を紹介しています。

物産展は、佐世保への誘客の核となる「ハウステンボス」、移住・定住促進のための「西九州させぼ

移住サポートプラザ」(右ページ)

等のほか、野菜・果物、地元の銘菓に出展いただきました。

また、佐世保市の「させぼ観光大使」(ミスさせぼ)も来場。会場を盛り上げていただきました。

今後も佐世保市との連携を強化し、地方創生に全力で取り組んでまいります。



「させぼ物産展」の販売風景



「海風の国佐世保写真展」紹介コーナー



させぼ物産展のお知らせをする「させぼ観光大使」と親和銀行担当者